

第67回質量分析総合討論会

アジレント・テクノロジー ランチョンセミナー①

5月15日(水) 202会議室 D会場 12:30 - 13:30

タイトル：水素をキャリアガスとして用いる Agilent Intuvo 9000 GC/MS による
がん細胞のメタボローム解析

要 旨：メタボローム解析において汎用されている GC/MS に水素をキャリアガスとして用いることで、ヘリウムに比べて速い線速度で効率的にクロマト分離が可能です。本ランチョンセミナーでは GC/MS の水素キャリアガスによって測定時間の短縮などの検討結果をご紹介します。

講 師：慶應義塾大学先端生命科学研究所 平山 明由先生

第67回質量分析総合討論会

アジレント・テクノロジー ランチョンセミナー②

5月16日(木) 202会議室 D会場 12:30 - 13:30

タイトル：低分子領域でも高分解能な 6546 LC/Q-TOF、LC のクロマトグラムを改善する
ピークシャープナー

要 旨：新製品 6546 LC/Q-TOF、および食の安全や農薬のスクリーニング、脂質の網羅的な解析に役立つ最新のインフォマティクスツール、機器の金属イオンによる影響を低減する金属不活性化添加剤アジレント InfinityLab ピークシャープナーなど、アジレントの最新分析技術をご紹介します。

講 師：アジレント・テクノロジー株式会社 軸丸祐介

第67回質量分析総合討論会

アジレント・テクノロジー ポスター発表

◆ 5月15日(水)

1P-13：GC/Q-TOF を用いた殺虫剤中の不純物および添加物の定性

◆ 5月16日(木)

2P-14：LC/QTOF を用いた界面活性剤の定性解析とスクリーニング

2P-22：核酸医薬品不純物の LC/TOF-MS 分析

2P-36：検出器の周波数増加による分解能の向上

2P-39：質量分析計を用いた多成分一斉分析結果へのデータサイエンス解析手法の検討

◆ 5月17日(金)

3P-35：GC/Q-TOF による網羅的な構造推定における選択型検出器の効果について